

CTI／東洋紡PPS共同企画セミナー 開催のご案内

コンバーティングの現場に学ぶ

医薬品・医薬部外品／ コスメ製品の設計・製造・包装 ～メディカル・コスメ分野の粘着加工技術も学べます～

<開催日>

大阪会場：2010年11月9日(火) 梅田センタービル16階 H会議室
東京会場：2010年11月12日(金) こどもの城・研修室9階 902号室

講師

PSA 研究所 所長

北崎 寧昭 氏

ニチバン(株) 大阪工場 品質管理部 生産技術課

渡邊 修一 氏

創包工学研究会 会長

三浦 秀雄 氏

(株)カナエ 常務取締役 包装技術開発研究所

田中 勝人 氏

池田機械産業(株) 代表取締役

池田 武司 氏

コンバーティングの現場に学ぶ

医薬品・医薬部外品／コスメ製品の設計・製造・包装 ～メディカル・コスメ分野の粘着加工技術も学べます～

メディカル分野の世界を覗いてみませんか。これらは決してコンバーティングの世界と縁遠いものではありません。古くは「包装」というカタチで携わってきた分野です。また、「粘着」という視点で見れば、例えば、絆創膏であったり、昨今では、薬効成分を粘着剤中に配合した貼付医薬品も数多く存在してきています。しかしながら、この分野は直接人体の健康に触れる製品を扱うがゆえに、薬事法をはじめ、さまざまな制約事項が多い分野でもあります。それがために、人々の「安心」と「安全」が保たれている分野でもあるといえます。

フレキシブルパッケージング業界は堅調とはいえ、食品パッケージ需要の爆発的な成長は望めません。底堅さは、海外勢も含め、新規の参入を招き、熾烈な価格競争のただなかに放り込まれています。差別化のための Something new を、ちょっとしたヒントを、隣接異分野ともいえるメディカル分野の製造現場の中から学びとってみませんか。これらの分野の製品設計・包装設計、包材トレンド、そして製造マシンの最新情報を学ぶことは、必ずや、現在の皆様のものづくりに生かせるノウハウがあるはずです。

「メディカル」「医療」「バイオ」を今後の成長分野として掲げる見方もあります。これらの分野への参入を目指すにしろ、そうでないにしろ、まずは学んでみなければ、そこから先には進めません。

そこで、加工技術研究会（CTI）および東洋紡パッケージング・プラン・サービス（東洋紡 PPS）は、食品パッケージ以外の分野として、医薬品・医薬部外品、コスメ製品にスポットを当て、次なるヒントを得ていただくために、共同企画セミナー「コンバーティングの現場に学ぶ 医薬品・医薬部外品／コスメ製品の設計・製造・包装～メディカル・コスメ分野の粘着加工技術も学べます～」を、11月9日に大阪、11月12日には東京で開催します。

商品設計や包装設計に必要な要件は、そのトレンドは、それらを製造する装置は？ など、そうした疑問を学ぶのに最適の場です。フレキシブルパッケージコンバーター、粘着コンバーター、PTP資材メーカー、医薬品・医薬部外品メーカー、コスメ製品メーカー、原反メーカー、粘着剤メーカーの方々にも、参加いただけると幸いです。

プログラム

■ 9:50～10:50

「医療用粘着テープの設計と製造」

講師：PSA研究所 所長 北崎 寧昭氏

■ 11:00～12:00

「極薄粘着テープの開発とコスメ分野における粘着製品の可能性」

講師：ニチバン(株) 大阪工場 品質管理部 生産技術課 渡邊 修一氏

■ 12:00～13:00

昼休み

■ 13:00～14:00

「医薬品包装設計と材料 ―プラスチック材料を中心として―」

講師：創包工学研究会 会長 三浦 秀雄氏

■ 14:10～15:10

「海外の医薬品包装におけるトレンドと国内医薬品包装の傾向」

講師：(株)カナエ 常務取締役 包装技術開発研究所 田中 勝人氏

■ 15:20～16:20

「メディカルテープ製造技術アウトラインの変遷と打抜個包装までの高速製造ライン」

講師：池田機械産業(株) 代表取締役 池田 武司氏

※デジタルカメラ、ビデオカメラ、レコーダー等を会場へ持ち込み、本講座の内容等を記録することは禁止します。

★講座の内容は都合により一部変更される場合がありますのでご了承ください。最新情報はホームページにてご確認ください。

プロフィール、要旨

「医療用粘着テープの設計と製造」

講師：PSA研究所 所長 **北崎 寧昭氏**



粘着製品の始まりは歴史的には絆創膏であったが、今日では非常に多岐にわたる用途に粘着製品は使用されている。人に貼って使用される医療用粘着製品は、貼付対象が人の皮膚であることから、貼付対象が人体以外の粘着製品とは異なるデリケートな要求が生ずる。治療効果が良くても皮膚にカブレが生じてしまうようでは、医療用製品としては欠陥商品になってしまう。ここでは医療用粘着製品の種類別解説をするとともに、安全性に裏付けられた製品設計と評価のポイント

を解説する。また製造方法についても若干触れる。

◎講師プロフィール

1964年3月東京農工大学工学部工業化学科を卒業、同年4月ニチバン(株)に入社、以来研究開発部門で就業。この間中央研究所所長、メディカル研究所所長などを歴任、2000年6月ニチバン(株)を定年退職、現在に至る。現在PSA研究所所長。学位：工学博士。

「極薄粘着テープの開発とコスメ分野における粘着製品の可能性」

講師：ニチバン(株) 大阪工場 品質管理部 生産技術課 **渡邊 修一氏**



昨今、粘着テープがコスメ分野で利用されることはほとんどなく、その理由は、粘着テープを貼るとその部分が目立ってしまうためと考えられる。今回、開発した極薄粘着テープは貼付箇所が目立たないことから、まず肌への貼付を前提として製品化を行った。極薄粘着テープは、かづきれいこ氏が提唱する「リハビリメイク®」の要求を満たす品質を有しており、現在では「かづき・デザインテープ」「かづき・カット・デザインテープ」として市販されている。講演では、こ

の極薄粘着テープの開発動機や製品化のプロセスを、設計者として自らの経験を交えて紹介する。

◎講師プロフィール

広島大学大学院理学研究科修了。2001年ニチバン(株)入社。「フロアディア™」の基本設計、「ケアリーヴ®シリーズ」「ケアリーヴ®防水キャラクター」「かづき・デザインテープ」等の設計を担当。大阪工場品質管理部生産技術課に所属。

「医薬品包装設計と材料 —プラスチック材料を中心として—」

講師：創包工学研究会 会長 **三浦 秀雄氏**



被包装物である製剤の品質は包装によって保証されているから、包装設計は極めて重要である。また、医薬品の場合には、表示・情報がことさら重要であるが、それらも材料に印刷されている。最も生産量の多い固形剤の主な包装形態はいままでもなくPTPであり、そのPTPIはプラスチックシー

トとアルミ箔を主材料としている。今般の講演会ではPTPを例として、「材料特性」「機械適性」「安定性」「使用性」「試験法」「バリデーション」などの基礎的な面から、医薬品包装の設計において留意すべき事項を概説する。

「海外の医薬品包装におけるトレンドと国内医薬品包装の傾向」

講師：(株)カナエ 常務取締役 包装技術開発研究所 **田中 勝人氏**



海外では特に患者と与薬者である薬剤師、看護婦からの情報収集を積極的に行い、新しい包装の開発に生かされている。提供する医薬品に製造会社として、患者にとって『安全と安心』を担保される包装とはどのようなものなのか。海外での医薬品包装についての新しい技術、傾向等開発事例を含め、具体的な紹介させていただくとともに、日本国内の状況についてはどのような傾向にあるのか説明する。

◎講師プロフィール

1969年6月 (株)カナエ入社
1972年1月 営業部に所属、新規得意先開拓に従事
1997年4月 営業二部部長
2001年4月 営業部長
2004年10月 技術開発部長に就任、包装技術、開発業務を担当する。
2005年1月 取締役 技術開発部長
2007年1月 常務取締役 技術開発部長就任
2007年10月 常務取締役 包装技術開発研究所就任、現在に至る。

「メディカルテープ製造技術アウトラインの変遷と打抜個包装までの高速製造ライン」

講師：池田機械産業(株) 代表取締役 **池田 武司氏**



ダイカットロールの出現により、医療テープの製造が高速化され、それに伴い、その周辺のカメラによる自動検査資材の自動供給、計数集積の高速化がすべて整って、現在の高速度マシンが存在するに至っているが、その歴史、変遷と、各ポイントの詳細説明を行う。

◎講師プロフィール

現・池田機械産業(株)代表取締役。自動機械設計に6年、医療自動機営業に5年従事し、1976年に独立し数多くの医療装置を納入している。

申 込 要 項

※複数名お申込みの場合は、申込書をコピーのうえご記入ください。
 ※申込書受理後、請求書と受講票をお送りいたします。
 ※受講票をご持参の方に限り受講できます。交代での受講も可能です。

送付先：FAX.03-3861-3894

■**受講料**：お申込は各会場毎となります
 1名様 30,000円(予稿集、税込み)

■**定員**：各60名 (事前登録制です。定員になり次第締め切らせていただきます)

■**企画**：(株)加工技術研究会 <http://www.ctiweb.co.jp/>
 〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-4-6 岩本町高橋ビル
 TEL.03-3861-3858 FAX.03-3861-3894
 (株)東洋紡パッケージング・プラン・サービス

■**申込方法**：

◎下記申込書を FAX にてお送りいただくか、ホームページ
<http://www.ctiweb.co.jp/cti/seminar/ctp2010/>
 からお申し込みできます。
 ◎申込書受理後、請求書、受講票をお送りいたします。
 ◎受講料は請求書記載の口座に銀行振り込みにてご入金ください。
 なお、振込手数料は貴社でご負担願います。また、お振り込みいただいた受講料は、理由の如何を問わずお返しいたしません。

会場アクセス

●**大阪会場**

日 程／2010年11月9日(火)
 会 場／梅田センタービル 16階 H会議室
 〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 TEL.06-6373-9981



アクセス/
 阪急電車：梅田駅
 より徒歩約6分
 JR：大阪駅より徒
 歩約9分
 地下鉄：梅田駅・
 東梅田駅より徒
 歩約6分
 阪神電車：梅田駅
 より徒歩約9分
 地下鉄：西梅田駅
 より徒歩約9分

●**東京会場**

日 程／2010年11月12日(金)
 会 場／こどもの城・研修室9階 902号室
 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1
 TEL.03-3797-5666



アクセス／J R山手線・埼京線／東急東横線・田園都市線／
 京王井の頭線／地下鉄銀座線・半蔵門線・副都心線：渋谷駅
 から徒歩10分(東口／宮益坂側)、都営バス渋谷駅(東口バス
 ターミナル)から[渋88]新橋駅前「青山学院前」下車すぐ。
 地下鉄銀座線・千代田線・半蔵門線：表参道駅からB2出口か
 ら徒歩8分／B4出口から徒歩9分

CTI / 東洋紡 PPS 共同企画セミナー受講申込書

コンパティングの
 現場に学ぶ

医薬品・医薬部外品／コスメ製品の設計・製造・包装
 ～メディカル・コスメ分野の粘着加工技術も学べます～

申込日 月 日

(いずれかに印をお付け下さい) 受講会場 **大阪** (11/9) **東京** (11/12)

フリガナ

参加者氏名

貴社名

所属部署

〒

住所

TEL.

FAX.

E-mail :

※複数名でご参加の場合は、申込書をコピーのうえご記入ください

FAX.03-3861-3894 にてお申し込み下さい

CTI加工技術研究会 セミナー係：TEL.03-3861-3858

備考欄

送り先 **FAX.03-3861-3894**

上記の個人情報は、当社からの、メール配信、新刊案内、セミナー開催案内等のDM送付、各種販促活動に利用させていただきます。この件につき、「同意される」「同意しない」の確認をお願いします。同意されない方の個人情報は、上記を含む他の用途に利用することはありません。 同意する 同意しない